

えほんイントロプロジェクト「10名がすすめる10冊の絵本」

下諏訪町読書推進委員会
委員長 河西 敏夫

1 「えほんイントロプロジェクト」とは

このプロジェクトを進めた「下諏訪町読書推進委員会」は、4年前に下諏訪町を会場に実施した南信図書館教育研究協議会がきっかけとなって、一昨年に立ち上がった組織です。教育委員会が事務局となっていますが、図書館、小中学校などの町の教育機関だけでなく、下諏訪向陽高校や花田養護学校といった県立学校、また、小中学校町PTA連合会、保育園保護者会連合会、さらには読書ボランティアの皆さんにも、推進委員として加わっていただいて、子どもたちを中心に下諏訪町に読書文化を根づかせたいという共通の願いのもとに活動している組織です。

この委員会が、昨年度実施した、様々な立場の町民による絵本の紹介事業を「えほんイントロプロジェクト」といいます。この事業は、「①紹介者は、多様な立場の町民から選定する。②紹介してもらう本は、『絵本』とする。③紹介文、ポスター形式にして、町内各所に展示する。」という3点を基本に進めました。

2 「10名がすすめる10冊の絵本」ポスターの作成

まず、各委員から推薦された紹介候補者の中から、できるだけ異なる立場の方が選ばれるようバランスを考えながら選定しました。その結果、小学生、中学生、高校生に加えて、様々な立場にある大人の皆さん（保育士等の教育関係者の他、書店の店主さん、園児保護者、読み聞かせボランティアの方々）に、一人一冊ずつ紹介していただくことになりました。

次に、紹介していただく本について、幼児から大人までの誰もが、手にとって読むことができるような本にと、『絵本』としました。これには、「『絵本』は、子どもが読むもの」というこれまでの常識をくつがえしたいとの願いも込められています。最近では、「大人のための絵本」も多く出版されるようになってきているのです。

また、ポスター形式にするにあたっては、事務局から見本を示して、紹介する方々が、どんな紹介ポスターにしたらいいか困らないようにしました。その結果、どなたも快く引き受けて下さり、ステキな紹介ポスターができあがりました。

3 「10名がすすめる10冊の絵本」ポスターの回覧展示

完成したポスターは、12月から3月まで、町内の保育園、小・中・高等学校で、順次回覧して展示しました。推薦された本については、町図書館が用意し、借りたいという人に貸し出せるようにしました。一巡したあとは、町図書館に展示してあり、絵本を選ぶ参考にしています。

4 えほんイントロプロジェクトの今後

一年間のまとめの中で、このような幅広い年齢層、立場の方々からの絵本紹介については、続けていかれば、という声が上がっています。今後も、様々な方からの紹介を続けていきたいと考えています。こうした活動を進めながら、町読書推進委員会としては、「子どもたちが、もっともっと本を好きになるためには、どうしたらいいのか」という問題について、委員だけでなく、広く町民の皆さんからもアイデアをいただきながら、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

夕食後のひととき、あるいは、休日の昼下がり、自宅で、図書館で、公園で、子どもも大人も本に親しむ姿が見られる、そんな「読書文化」が、この下諏訪町に根づいたら、どんなにステキでしょう。

